

名水っ子放課後子ども教室

連絡先

場 所：延岡市教育委員会 社会教育課

電 話：0982-22-7032

FAX：0982-33-6874

E-mail：s-kyouiku@city.nobeoka.miyazaki.jp

1 事業の目的・理念

放課後に小学校の余裕教室や図書室、体育館等を活用して、子どもたちの安心、安全な活動拠点（居場所）を設け、地域の方の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会のなかで、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。

2 運営について

主な活動場所	図書室・体育館・余裕教室・運動場	平均参加人数	24人 登録人数 40人
開設時間等	毎週 月～金 年約(188)回 放課後～午後5時 (冬季～4:30)	対象学年	小学校1～6年生
コーディネーター	活動内容 子ども達と安全管理員との関係づくりへの配慮・学校と行政、安全管理員との連絡調整・体験活動、安全指導・安全管理員の配置・研修企画・保護者への広報（名水っ子だより作成）		(1)人
安全管理員	活動内容 遊びや学習活動の安全な見守りや指導 体験活動、昔の遊びの指導や環境づくり	1日4人で対応 男4・女9人(40～70代)	登録数 (13)人
学習アドバイザー			(0)人

3 活動紹介（特色等）

- 20分間の学習後 好きな遊び（枕叩き・絵かき・読書・ドッジボール・パドミントン）等をする。
- 週1回、習字の時間を設けている（安全管理員のなかに習字指導者がいる）
- 水曜日は全学年同じ時間に授業が終わるので全員での楽しい体験活動を取り入れている。
ジャポonyaぼん玉・五穀せんべい作り・クリスマス会・昔の遊び（ちょうちん作り、竹鉄砲、柳もち）
家庭の日に親子活動（ペットボトルロケット作り・ソーメン流し）・落花生植え・炒り・豆まき
- 安全管理員が竹山に入り竹の切り出しを行い「ソーメン流し」「竹てっぽう作り」の材料を準備
- 体験活動は安全管理員が順番で計画・準備・指導を実施
- 月1回、校区内会議を実施。安全管理員・学校・行政とで月の反省、活動の話し合いを実施
- 夜1回、保護者会を実施。子ども達に人気のプラバン作りや読み聞かせ等を盛り込んだ。
- 地域の祭りではちょうちんやポスター作りに協力し、地元の夕刊に掲載された。
- 先進地視察で日向市より来校、情報提供する。
- 県の研修の他に、市独自の研修会や校長先生による研修等を取り入れている。

4 参加者・保護者の感想・意見等

- 子ども**
体験活動が人気である。
- 保護者**
昔の遊び等家庭ではできない体験をたくさんしている。放課後そのまま遊べて安心。子ども教室のおかげで不安なく仕事ができる。
- 安全管理員**
自分達の学校、地域という意識が高い。地域で子ども達と会話できるようになり元気がもらえる。異学年でひとつにまとまって遊び「思いやり」が育っている。活動がマンネリ化しているので工夫したいと感じている。
- 学校**
地域との連携の場になり地域の文化を伝えてもらい、学校での教科学習やくらしの中に生かしている。また、学校や地域で子ども達が見守られ安心、安全な環境づくりが進められている。

5 事業全体の成果と課題

- 3年目を迎え、安全管理員同士仲良く「地域の子どもは地域で育てる」というひたむきな思いで意欲的に楽しんで活動している。体験活動は安全管理員が順番で計画・準備・指導を行い意欲的である。
- 今年初めて、夜に楽しい工作や読み聞かせ等工夫し保護者会を実施したが参加者が少なかった。機会あるごとに新聞、テレビ等で報道したり親子体験を実施したり、保護者に発信しているが安全管理員の一生懸命さに対し、保護者の積極的な姿、意識の高まりが感じられない。
- 体験を受身的にとらえているところがあるので、子ども達の自主性を育てていきたい。
- 安全管理員の高齢化等により、後継者を探しているが難しい。

■名水っ子放課後子ども教室活動の様子



学習の様子



運動場でボール遊び



将棋遊び



ジャンボしゃぼん玉遊び



大根玉鉄砲作り



落花生栽培



習字遊び



夏休み親子ペットボトルロケット作り

年間活動
落花生栽培
6月 苗植え
11月 収穫・乾燥
2月 炒り・豆まき



五穀米煎餅作り



手作りクリスマス会



柳餅作り



下校前の読み聞かせ



校区内会議の様子



第1回保護者会
キーホルダー作り

